



# Hydraulic clutch kit 取扱説明書

(Standard clutch , Reinforcement clutch)

商品番号 02 - 01 - 026 (フルキット)

適応車種：6Vモンキー / 6Vゴリラ	フレーム号機：Z50J-1300017 ~ Z50J-1805927
適応車種：12Vモンキー	フレーム号機：Z50J-2000001 ~
適応車種：12Vゴリラ	フレーム号機：Z50J-2500001 ~
適応車種：モンキーBAJA	フレーム号機：Z50J-1700001 ~
適応車種：モンキーRT	フレーム号機：AB22-1007601 ~
適応車種：モンキーR	フレーム号機：AB22-1000017 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。  
この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。  
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。  
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。  
当製品は、上記適応車種、フレーム号機の車両専用用品です。他の車両には取り付けできませんので御注意下さい。  
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。  
当製品を使用するには、コンビネーションスイッチが別途必要です。  
当製品の取り付けには、マフラー脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。

**注意** この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を、示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

**警告** 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させず場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・マフラーがオイルホースに干渉しない(20 ~ 30mm 以上の間隔は確保する。)ようにホースを取り回してください。(部品破損等の原因になり、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

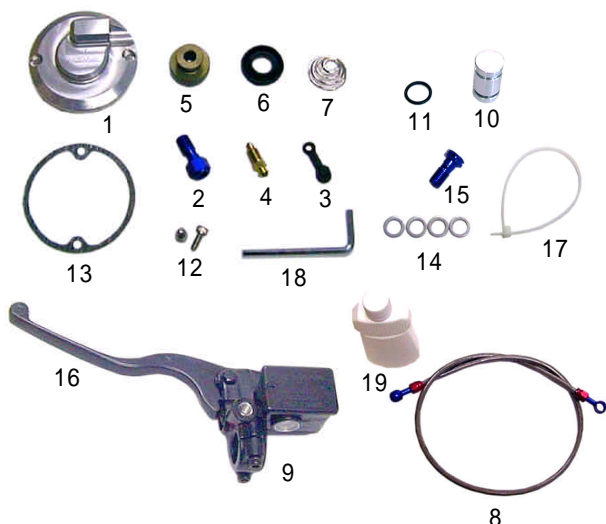
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。  
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

## 特徴

- ・クラッチリリース方式を油圧方式にする事により、クラッチ操作のレスポンスが良くなり、操作性が向上します。

## ～ 商品内容 ～



No.	Description	QTY
1	ハイドロリッククラッチカバー	1
2	エアフリーバンジョーボルト	1
3	フリーダーキャップ	1
4	フリーダースクリュー	1
5	クラッチリリースピストン	1
6	ピストンカップ	1
7	クラッチリリーススプリング	1
8	オイルホース	1
9	L. マスターシリンダーASSY.	1
10	リリースブラインドプラグ	1
11	Oリング	1
12	ソケットキャップスクリュー 5×12	2
13	ガスケット	1
14	シーリングワッシャ	4
15	バンジョーボルト	1
16	クラッチレバー	1
17	タイヤップ 200mm	1
18	Lレンチ 4mm	1
19	ブレーキフルード BF-4(200cc)	1

## ～ 取り付け要領 ～

SET内容を、御確認下さい。

### (取り付け準備)

**⚠ 注意: エンジン、マフラーが冷えていることを確認する事!!**  
**車両を安定させる事!!**

1. 車両をメンテナンススタンド等で安定させ、ウインカーホーンスイッチASSY.の結線と、クラッチワイヤーを外し、ウインカーホーンスイッチASSY.をL.ステアリングハンドルレバーごと取り外したらクラッチワイヤーを抜き取ります。



クラッチレバーストッパーピン

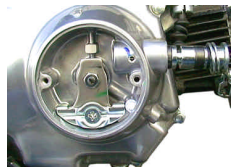
2. 二本のオーバースクリューを外し、クラッチカバーを取り外します。クラッチレバーストッパーピンを抜き取り、クラッチレバーCOMP.をクラッチレバースプリングと一緒に取り外します。

クラッチレバーストッパーピンは再利用しますのでご注意ください。

STD.マフラー、UPマフラーを御使用の場合は、マフラーを外さないでクラッチレバーCOMP.を抜き取れません。



3. フラットスクリューを外し、クラッチリフタープレート、リフターセッティングプレートを取り外します。



4. 取り外した部品を袋等に入れ保管します。汚れ、古くなったグリスを拭き取ります。

### (取り付け)

**⚠ 注意: トルクレンチを用意し規定トルクを必ず守る事!!**



1. リリースブラインドプラグのOリングがついていることを確認し、リリースブラインドプラグのフラット面からクラッチレバーCOMP.の入っていた穴に入れてクラッチレバーストッパーピンで止めます。
2. ハイドロリッククラッチカバーにクラッチリリーススプリングの大径部側から入れ、クラッチリリースピストンの穴の開いた方からハイドロリッククラッチカバーにはめ込みます。

ピストンシール、ハイドロリッククラッチカバーのシリンダー内側にブレーキフルードもしくはラバーグリスを必ず塗布して下さい。

3. ハイドロリッククラッチカバーにガスケットを入れR.クランクケースカバーにしっかりとはめ込みソケットキャップスクリューで仮締めし、指定トルクで締め付けます。  
 $T = 5 \text{ N} \cdot \text{m} (0.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

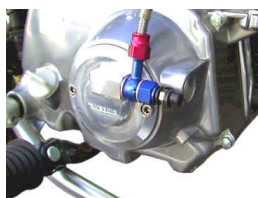
4. L. マスターシリンダーをハンドルにソケットキャップスクリューで取り付け、指定トルクで締め付けます。 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$
5. ハイドロリッククラッチカバーのザグリ部分にシーリングワッシャー、オイルホースエンドのバンジョー部分、シーリングワッシャの順に置きエアフリーバンジョーボルトを手で仮締めし、オイルホースをL. マスターシリンダーまで取り回し、シーリングワッシャ、オイルホースエンドのバンジョー部分、シーリングワッシャの順にバンジョーボルトで取り付けます。位置が決まれば、バンジョーボルトを指定トルクで締め付けます。 $T = 13.5 \text{ N} \cdot \text{m} (1.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$
6. エアフリーバンジョーボルトにフリーダーキャップを取り付けたフリーダースクリューを取り付けます。 $T = 5 \text{ N} \cdot \text{m} (0.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

### (クラッチ液の注入)

1. L. マスターシリンダーのリザーバキャップを取り外し、フリーダースクリュー、バンジョーボルトが締め付けられていることを確認し、L. マスターシリンダーのリザーバの上限レベルまでクラッチ液を注入し、クラッチレバーを操作し、クラッチシステム内にクラッチ液を満たす。  
 この操作をリザーバ内のプライマリポートから気泡が出なくなるまで(クラッチレバーに重みを感じるまで)行う。  
 化学変化を防止するため、異なった銘柄の液を混入させないこと。  
 クラッチ液は、塗装面を損傷させるので部品類に付着させないこと。
2. フリーダースクリューにビニールチューブを取り付け、クラッチレバー先端がハンドルグリップに当たるまで握り、フリーダースクリューを約1/2回転ゆるめ、再び締める。クラッチレバーをゆっくり放し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置する。ビニールチューブから気泡が出なくなるまでこの操作を繰り返します。  
 リザーバからエアが入らないように、クラッチ液の液面を点検しながら行うこと。
3. エア抜きが終了したら、クラッチ液をリザーバの上限レベルまで補給し、ダイヤフラム、リザーバキャップを取り付けます。フリーダースクリューの締め付けトルクを確認します。

**⚠ 注意: エア抜きが完全でない場合、エンジンが高温になるとクラッチが切れなくなる可能性があります。**

### (組み付け後)



1. エンジン停止状態でトランスミッションを1速にシフトレクラッチレバーを握ります。車両を動かした際リヤホイールが回転しクラッチレバーを放した状態でリヤホイールが回転しないことを確認して下さい。
2. トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し、各部のオイル漏れを点検します。異常が無ければ安全な場所で低速での走行テストを行いクラッチの作動を確認して下さい。

**SPECIAL PARTS TAKEGAWA**  
 〒584-0069  
 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
 TEL 0721-25-1357  
 FAX 0721-24-5059  
 URL <http://www.takegawa.co.jp>